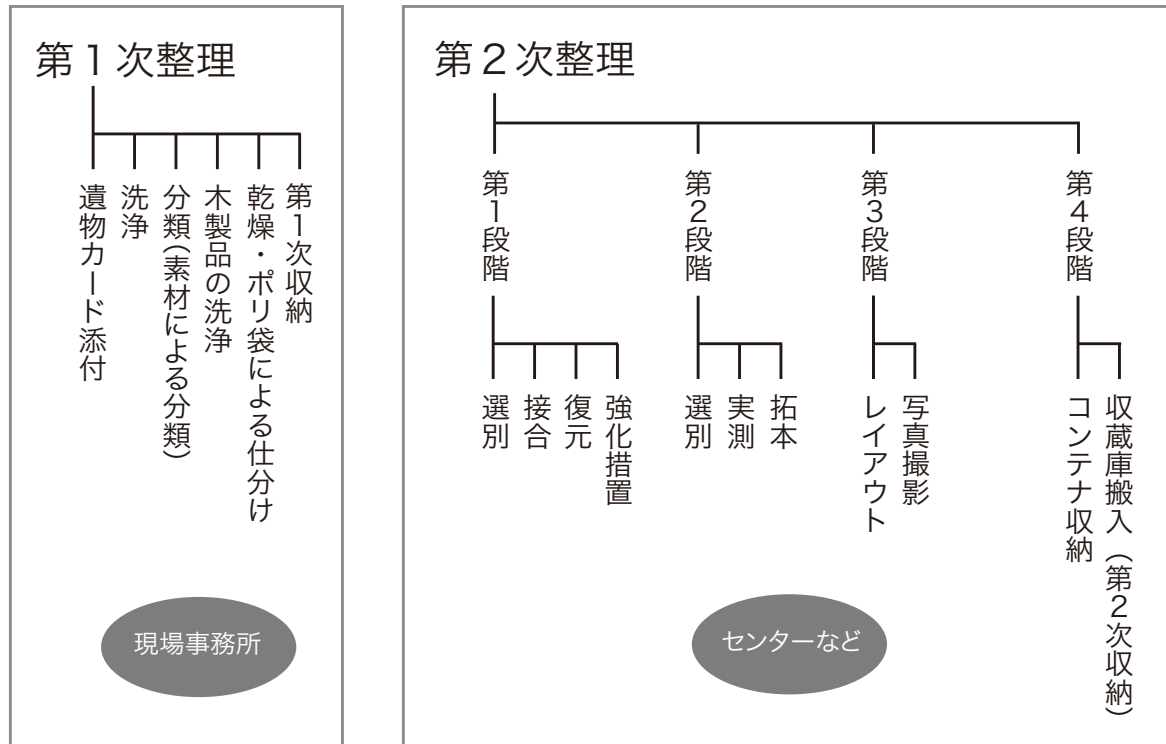


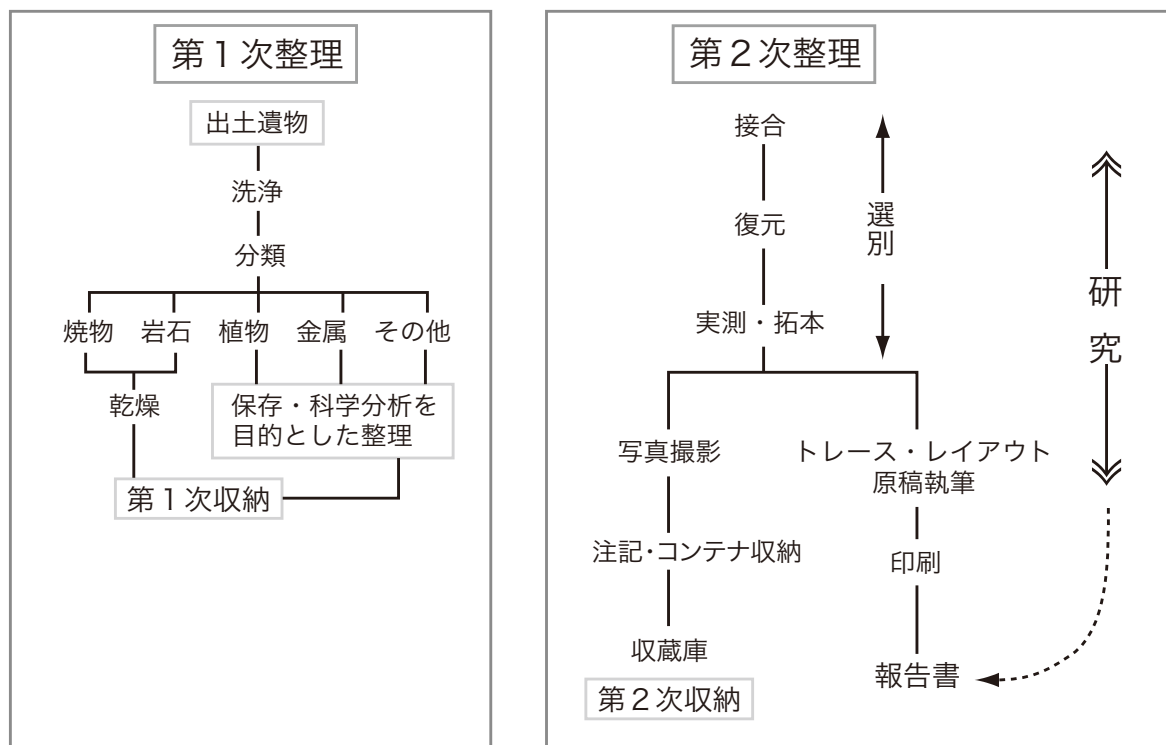
整理作業編

A 遺物整理の方法

整理作業の区分



整理作業の流れ



B 第1次整理（発掘調査業務）

第 1 次整理（現場事務所で実施を前提）と第 2 次整理（調査センターなどで実施）。

→てびき (整理) P.12-14・16

遺物を水洗にて洗淨する。

付着物・内容物や墨書・彩色などの表面状況に注意しながら土を落とす。

破損のおそれがある場合は、整った体制と場所で洗浄しなければならない。

●焼き物・石器は、十分な乾燥を行う。

●木製品は、乾燥防止の梱包もしくは水漬けで保管する。

素材で分類（焼物→土・木製品→木・石器→石）。

コンテナ収納（第1次収納）。

遺物はチャック付きビニール袋（厚さ 0.08mm 以上のもの）に出土情報等を記したユポ紙と同梱してコンテナに収納。

木製品・金属製品など脆弱遺物については一覧表（下図）を添えて搬入する。



遺物水洗作業（室内）



遺物水洗作業（屋外、木製品）

[illegible]

脆弱遺物（木製品）一覧表フォーマット

[illegible]

木製品一覽表作成例

C 第2次整理（報告書作成業務）

a 報告書作成のための整理作業

→てびき（整理）P.17-

必要資料の選別・接合・復元・実測・撮影を行う。

遺物の観察・実測図作成は、『てびき』整理・報告編による。

整理された遺構データと遺物データから、遺構の時期特定や変遷などの分析。

遺物写真撮影はセンター内写場でおこなう。

遺物写真もデジタルデータで保存 JPEG か TIFF 形式（画像データは撮影時のもの）。

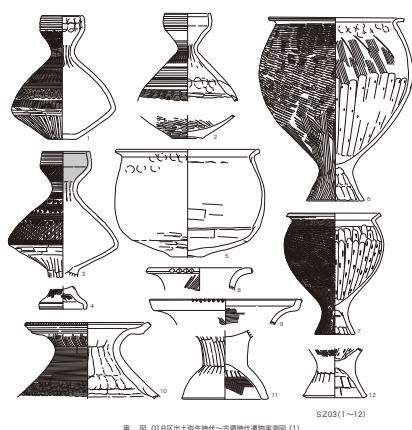
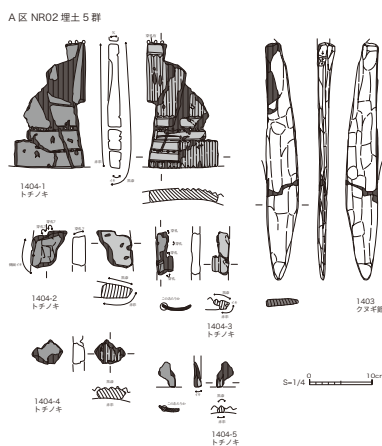
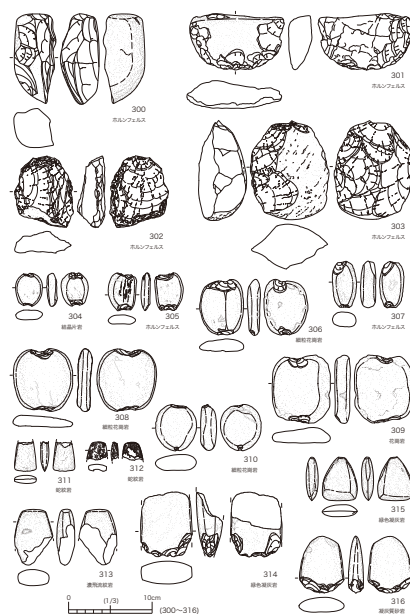


図 01 B区出土弥生時代～古墳時代遺物実測図 (1)

弥生土器の実測図版



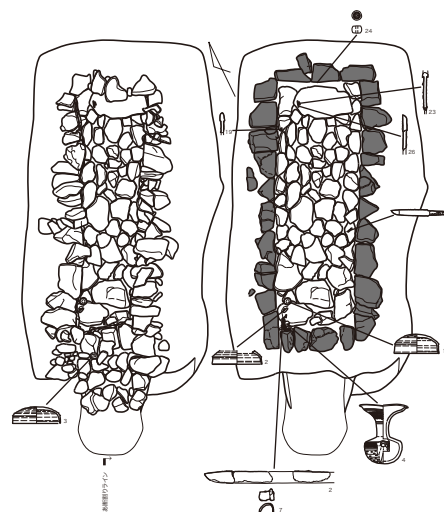
木製品の実測図版



石器の実測図版



掲載遺物の撮影（3階写場）



石室内の遺物出土位置図版

b 遺物の収納

遺物に登録番号を注記する。

遺物は、報告書掲載や活用の幅などによって分類され（分類 A ～ D）、台帳を作成し、分類ごとに登録番号順でコンテナ収納する（第2次収納）。

収納の方法

コンテナ収納

- 1：土器・石器等、材質により区分し収納する。
- 2：報告書で遺物登録番号が示された遺物については、原則としてその番号順に収納する。
- 3：圧縮収納に努めるなど、極力効率的な収納を行う。
- 4：報告書単位で、A・B・C 1・C 2 の類別順にコンテナ箱または梱包単位に一連の番号（コンテナ番号）をつけ、ラベル表示する。

収蔵庫への収納

- 1：報告書単位に類別収納を行う。
- 2：コンテナ番号は、報告書単位の連番とする。
- 3：コンテナ箱の収納の順序は、類別区分に従い A・B・C 1・C 2 の順とする。
- 4：収蔵庫でのコンテナ箱の配列は、原則としてコンテナ番号順とする。

遺物の登録記号と収納場所

表記は黒

焼き物一般	E	収蔵庫 D
石製品	S	収蔵庫 D
ガラス製品	G	収蔵庫 D
木製品	W	特別収蔵庫
金属製品	M	特別収蔵庫
その他	X	収蔵庫 D・特別収蔵庫 Xb- 骨 Xs- 貝

収蔵のための分類

保管・活用については、『愛知県教育委員会が管轄する出土遺物の収蔵・保管・活用の在り方について』平成 10 年 埋蔵文化財収蔵問題検討会に基づく。

分類A

考古学的な資料価値が高く、展示・公開等に活用される遺物。
これらは、次の分類Bの資料のうちの一部に該当する。

分類B

調査報告書に個別資料として掲載され、登録番号が付された資料。

分類C

上記 A・B 区分以外で一定程度の情報量を有する資料。活用の可能性から C 1・C 2 に細分する。

C1：遺構内出土品。遺構外出土品のうち研究対象資料（土器の口縁部、底部、文様のある破片など、一定程度の情報を有する資料）、大量生産品・遺構素材等（近世の瓦・古窯の焼台等）のうちのサンプル抽出資料、自然遺物（貝塚の貝・食料残渣等）のうちのサンプル抽出資料等。

C2：遺構外出土品のうち、研究資料としての活用の可能性が低いと判断される遺物。

大量生産品・遺構素材等のうちのサンプル以外の資料。

分類D

整理作業の過程で、研究資料として活用しえないと判断された遺物。例えば、摩耗した土器片、変形等で形状の判別ができない木製品など、出土品自体あるいは出土状態等からも、時期・性格等が推定不能で、研究資料として活用しえない遺物など。サンプル以外の自然遺物等。

基本台帳 入力シート例

第 239 集 郷中遺跡

箱番号	集番号	遺跡名	調査区	登録番号	種別	調査区	遺構	区分	収納場所	保管配置	梱包形態	梱包サイズ	備考(作業時整理番号)
1	239	郷中遺跡	22Ab	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13/14/15/16/17/18/19/20/21/22/23/24/25/26	E			B	収D		C	28	
2	239	郷中遺跡	22Ab	27/28/29/30/31/32/33/34/35/36/37/38/39/40/41/42/43/44/45/46/47/48/49/50/51/52/53/54/55/56/57/58/59	E			B	収D		C	28	
3	239	郷中遺跡	22Ab	60/61/62/63/64/65/66/67/68	E			B	収D		C	54	
4	239	郷中遺跡	22Ab	69	E			B	収D		B		
5	239	郷中遺跡	22Ab	70/71/72/73	E			B	収D		C	54	
6	239	郷中遺跡	22Ab	74/75/76/77	E			B	収D		C	28	
7	239	郷中遺跡	22Ab	78/79/80/81/82/83/84	E			B	収D		C	54	
8	239	郷中遺跡	22Ab	85/86/87/88/89/90/91	E			B	収D		C	28	
9	239	郷中遺跡	22Aa/22Ab/22Ac/試掘調査	92/93/94/95/96/97/98/99/100/101/102/103/104/105/106/107/108/109/110/111/112/113/114/115/116/117/118/119/120/121/122/123/124/125/126/127/128/129/130/131/132/133/134/135/136/137/138/139/140/141/142/143/144/145/146/147/148	E			B	収D		C	28	
10	239	郷中遺跡	22Aa/22Ab/22Bb/22Bc/23A	201/202/203/204/205/206/207/208/209/210/211/212/213/214/215/216/217/218/219/220/221/222/223/224/225/226/227/228/229/230/231/232/233/234	E			B	収D		C	28	
11	239	郷中遺跡	23A/23B	235/236/237/238/239/240/241/242/243/244/245/246/247/248/249/250/251/252/253/254/255	E			B	収D		C	28	
12	239	郷中遺跡	22Aa/22Ab/22Ac/22Ba	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13/14/15/16/17/18/19/20/21/22/23/24/25/26/27/28/29/30/31/32/33	S			B	収D		C	28	
13	229	郷中遺跡	22Aa	1	M			B	収D		C	15	
14	239	郷中遺跡			E	試掘調査/22Aa/22Ab	試掘調査-1TSK1+1T3層+1T6層+1T7層/22Aa-001SK+018SK+色含層/22Ab-073SK+084SK+085SK+086SI	C1*			C	28	縄文(仮 105/106/107/108/109/111/112/113/114/115/122/125/128/131/132/133/134/136/138/139/140/142/145/148/149/150/151/152/153/154/155/156/157/158/159/160/161/162/163/164/165/166/167/168/169/170/171/172/173/174/175/176/179/180/181/182/183/185/186/187/188/189/190/193/195/196/197/198/199/200/201/202/203/204/205/208/209/210/211/212/213/214/215/216/217/218/219/220/221/222/223/224/225/226/227/228/229/230/231/232/233/234/235/236/237/238/245/246/247/248/249/250/253/254/257/259/260/602/603/604/605/606/607/608) dot付き含む
15	239	郷中遺跡			E	22Ab	086SI/087SD	C1*			C	28	縄文(仮 261/262/263/264/265/266/267/268/269/270/271/272/273/274/275/276/277/283/284/287/288/290/291/292/293/294/295/296/297/298/299/300/301/302/303/304/305/306/307/317/318/319/320/322/323/324/325/326/327/328/329/330/331/332/333/334/335/336/338/343/345/346/347/348/349/350/351/352/353/354/355/356/357/358/359/360/361/363/367/368/369/370/376/377/378/379/380/381/382/386/388/389/390/391/392/393/394/395)
							22Ab-						縄文(仮 119/396/397/398/399/400/401/402/403/405/407/408/409/410/411/412/413/414/415/417/418/419/420/42

<入力にあたっての注意事項> 英数字・記号は半角で入力すること(「※」を除く)

箱番号	
集番号	1冊の報告書に複数の遺跡を掲載する場合も区別は不要。(番号の後ろにA・B・C…等を追記しないこと。)
遺跡名	報告書の題名が「○○遺跡Ⅱ」や「○○遺跡Ⅴ」の場合も「○○遺跡」と記入。 また、1冊に複数の遺跡が収録されている場合はその冊に収納されている資料の出土遺跡名を記入。
登録番号	番号と番号の間はスラッシュ「/」で区切り、全ての番号を記入すること。(「1-10」のように省略しないこと。)
種別	E/S/W/M/Xのいずれかを記入。＜土器:E、石器:S、木製品:W、金属製品:M、その他(骨、ガラスなど):X＞
調査区	省略可。
遺構	
分類	A/B/C1※/C1/C2のいずれかを記入。(「C1※」の「※」表記に注意すること。「*」「★」など、「※」以外の記号は不可。)
収納場所	収D/特収/常滑のいずれかを記入。＜収D:収蔵庫D、特収:特別収蔵庫、常滑:元常滑高校＞のうち、実際に収納する場所を記入。
保管配置	空欄。(調査センターにおいて場所を確定後に記入)
梱包形態	C/B/W/Xのいずれかを記入。＜C:コンテナ、B:プラスチック段ボール箱、W:木箱(特別収蔵庫の木製品用)、X:その他(箱に収納できないもの)＞
梱包サイズ	「梱包形態」欄が「C」(コンテナ)の場合に、コンテナの容量(L換算)を記入。
備考	・報告書に図版は掲載されていないが一覧表には掲載されているもの(C区分)については、収納先がわかるように記入(一覧表の掲載場所(報告書・添付CD・HP)、表の番号等の情報)すること。(上記記載例参照)また、A・B区分と同様に、収納袋内に表の番号を記載したカードを入れておくこと。(例:「報告書掲載 表21-15」「添付CD掲載 出土品一覧表-14」) ・研究記事等に掲載した場合はこの欄に記載すること(例:「研究記事〇号掲載 (執筆者番号)(発行年) 表1-1/2」)。この場合も収納袋内に図表の番号を記載したカードを入れておくこと。(例:「研究記事〇号掲載 (執筆者番号)(発行年) 図1-1」)。 改行する場合は、スペースキーではなく「Alt」キーと「Enter」キー同時押しで改行すること(スペースキーを押しての改行は見かけ上の改行であるため)。

「令和6年2月25日付」17号通知(愛知県埋蔵文化財センター)に基づき、愛知県埋蔵文化財調査センター所長が管理する出土品の取扱いについて」より

収納箱貼付カード

第209集

北丹波・東流遺跡

1

報告書集番号

コンテナ・箱番号

* 貼り付けカードも内容カードも
印字はすべて黒
* 貼り付け場所は、正面右側

収納箱貼付内容カード

A 分類・B 分類

北丹波・東流遺跡 1EKH

12A

E-001~026

B

遺跡名と略号 (p3,4 参照)

調査区

遺構番号

遺物登録番号

C1 分類・C2 分類・D 分類

北丹波・東流遺跡 1EKH

12A/12B

037SD

土器

C1

遺跡名と略号 (p3,4 参照)

調査区

遺構番号

遺物種類など

遺構番号、遺物種類などは任意

収納箱 内容カード

1面 (貼付内容カードと同じ)

北丹波・東流遺跡 1EKH

12A

E-001~026

B

2面 (箱番号カードと同じ内容)

第209集

北丹波・東流遺跡

1

* 1面と2面を裏表にして、パウチしたものを、箱内に遺物と共に収納。
* シールの破損・紛失時に対応するためのもの。

土器袋同包番号カード

E-111

* 登録番号を確認するための番号カード
土器と一緒に袋に入れるもの。
* 紙質と印字方法は問わない。
が、退色防止のため、色は黒。

移管準備 (センター外)



* 台車の列ごとに内容 (集番号, 遺跡名, C1 ※, C1, C2) がわかるようにする。
* 台車の列ごとに、最上段を蓋で覆う。



リフト付きトラック
(パワーゲート車)



トラック進入準備
(作業: 運送会社)